

平成 25 年 12 月 18 日

12 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は引き続き順調。入荷量は平年並み。荷動きは、製材工場のフル稼働の中で原木在庫は一向に増えない状況。スギは柱材が引続き好調で、中目材は一層引合い強まる。ヒノキは引続き柱材・土台取りの引合い強い。大型製材工場を中心に原木手当に奔走しており、一部材種に天井感も出ているが、全般に高値を維持したまま横這いで推移。今回の急騰は、消費税増税前の駆け込み需要や木材需要促進施策の実施により、一時的に国産材の需要が急増し、丸太の増産が追いつかない状態が続いているからと思われ、年明け後に急騰した分の反落が懸念される。群馬の製材工場はほぼフル操業の状態。原木の入荷は、スギは出始めたがヒノキ・カラマツが不足。在庫もやや少なめ。製品の販売は 1 月までの受注は確保。製品在庫は少ない。ヒノキ土台が全く足りない状況。製品価格はカラマツ集成材ラミナが原木急騰で高値、スギも多少アップ。

2. 米材

米国丸太は、中国、地場製材共に買いが旺盛で、IS クラス以上は全て前月比 \$ 20 アップ。カナダ丸太も米国同様セカンドは強く、オールドは引続き無い物高。産地の港頭在庫は、出荷が入荷を上回り、港頭在庫は引続き減少。ウェアハウザー社の 12 月積み米マツ IS ソートは、前月比 \$ 20 アップで推定 \$ 870。米材原木の入・出荷、在庫ともに横這。国内大型港湾製材工場は KD 製品主体に好調。内陸部製材工場は、国産材を増やし、米材は当用買いに徹している。米製材品の TLT(東京木材埠頭) 11 月入荷量は 33.6 千 m^3 で前月比 17.4%減、出荷量は 37.1 千 m^3 で同 2%増、在庫量は 75,0 千 m^3 で同 4%減。産地情勢は、米国の 10 月分住宅着工統計では 103.4 万戸(前年同月比 14.%増)と順調に推移。11 月に入り降雪が始まり、今後丸太の出材はタイトになる。産地価格は 15 種平均 \$ 397 で今のところ好調。SPFJ グレード第 1QTR のオファーが注目。荷動き・先行きは、先月と変わらないが、円安や国産材のタイト感から値戻しの動き。産地丸太は供給不足で、価格も上昇。中国向けも旧正月までは引合いが強く、日本国内の製品価格は、更に値上げされると予測。

3. 南洋材

サバは、雨季に入り山元での原木出材は低調。今後旧正月を控え出材はさらに減少が見込まれ、価格は強含みで、下げ止まっていた製品価格も上昇に転じる気配。サラワクも降雨により出材は減少、原木価格は強含み傾向で、今後インドなど第三国勢の買付動向に注目。製材品は横這いから強含み。PNG・ソロモンは降雨が長期化し、低迷気味だった原木出材がさらに低迷しているため、中国勢が買付を強めており、価格は強含み。南洋材丸太の入・出荷、在庫とも横這い。原木の販売は合板用、製材用とも大きな変化なし。製材品は、無垢材・集成材ともに荷動きは横這い続く。輸入元は極力販売価格の上昇を控えているが、円安と産地の値上げ要求が続けば値上げせざるを得なく、値下げを望む需要家との綱引きが激しくなると思われる。

4. 北洋材

ロシア極東は8月の大雨の影響で、アムール材は全く振るわず、ワニノ地区も暖冬の影響で冬山造材がスタートできない状況。一方で日本国内丸太在庫は薄く、消費は依然強いことから今シーズンも11月～1月のいわゆる越冬在庫に大きな懸念を残す。シベリア材は冬山造材が始まり、順調にいけば12月下旬には日本向け初配船がみられる。富山新港の11月丸太入荷量は3千 m^3 （エゾマツ2千 m^3 、カラマツ0、アカマツ1千 m^3 ）、製品は6千 m^3 。価格動向は、丸太は横這い、製材品はアカマツ輸入完成品が、京浜港頭在庫が減少せず横這い。丸太は入荷少なく荷動き悪く、現地のオファー待ち、製材品はアカマツの荷動きが低調。在庫状況は1ヶ月位。国内製材工場はエゾマツ、アカマツ丸太、原板とも不採算。稼働状況は採算合わず生産調整。

5. 合板

原料丸太のうち国産材は、スギを主体にさらに強い状況。南洋材は現地が雨期に入り出材が厳しく、円安も加わり強気での推移。米材も現地の住宅着工が好調な上に円安で相変わらず強気で推移。10月の国内合板生産量25.3万 m^3 のうち、針葉樹合板は23.8万 m^3 で、出荷量は24.6万 m^3 と過去最高値を記録。このため在庫量は13.7万 m^3 と依然低水準。販売価格は、全体的な出荷量が依然好調で、需要も旺盛なことから市況は高値安定。メーカーの強気姿勢は変わらない。国産針葉樹合板は最高の生産・出荷となるなど需要は旺盛。価格も需要を反映し強気の推移となっているが、トラックの手配が一層困難な状況となり、納期は不透明で一部混乱も起きている。輸入合板は12mm系を中心に荷動き好調。また、為替変動に対する警戒観から荷動きに拍車をかけている状況。先行き針葉樹合板の需要は旺盛で、今後冬場に向けての生産性低下と配送トラック問題が深刻

化。輸入合板は先月までとは大きく変わり、港頭在庫が減り始め一部アイテムで不足感が出てきたことや、為替影響もあり強気の状況が続くと思われる。

6. 構造用集成材

原料ラミナの入港は順調。ラミナ在庫も潤沢。欧州の原木伐採は天候も平年並みで計画通りの進捗。国産集成材の受注は多く、販売の荷動き・先行きともに良好。在庫は少ない。価格は為替レート 1 €135 円～138 円が適用されるため、40,000 円/m³近くのラミナが入港する。ユーロ高の影響でラミナは過去最高値近くになる。輸入集成材は、3rdQTR 契約ではほとんどがスキップとなったため、入港は減少傾向で年明けも少ない状況。住宅着工がピークを迎え、首都圏の現場では職人はじめ仮設トイレ、足場まで納期がかかっている。国産材が原料高・製品不足で市場は大混乱。一部では国産材離れも危惧されている。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、スギ柱・間柱、ヒノキ柱・土台ともに荷動き順調だが、入荷少なく対応に苦慮。造作材は、秋田スギ桁平割は依然順調、吉野ヒノキもビルダーの動きが活発で、造作用、建具用ともに好調。外材の構造材は、国産材の入荷が少ないため、米ツガ、米ヒバに動き。造作材はスプルー、米ヒバ良材が引続き荷動き好調だが入荷少なく苦慮。市日の来場者数に特段変化はないが、市日以外の来場・引合いはかなり多い。来年の消費税増税による前倒し需要と思われる。

8. 小売

国産材の構造材はスギ強保合、ヒノキ柱は保合で土台は強保合。外材はアカマツ垂木、WW 間柱弱保合、ベイツガ KD 角、平割り、SPF いずれも保合。造作材はスプルー良材強保合、ナラ・タモ保合。集成材は WW、RW 梁、柱とも保合。合板は保合じり高、長尺針葉樹合板は品薄状態で納期かかる。プレカット工場の動向は、年末にかけて加工は混んでおり、打合せから加工、納期まで 3 週間以上かかる。価格は保合。工務店の仕事は 2・3 月までは確保しているようだが、それ以降は厳しい状況。

12月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↘	→	↘
北洋材	丸太	↘	→	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	↘	↘

矢印の表示は本月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	→
			スギ中丸太(3.65m) 2等	↗
			ヒノキ柱材(3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	↗
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	↗
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↗
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	↗
			スギタルキ3.0×4.0×4m	↗
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↗	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↗	
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	→
			米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	→
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	→
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	→
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	→
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↘
	スギ 無化粧 JAS 5プライ		→	
	欧州産	〃	10.5×10.5×2.98m	↘
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→